

# わしま

### 人口の動き

11月末人口	
出生4人	死亡3人
転入15人	転出15人
世帯数 1,278世帯(-3)	
男 2,779人(-2)	
女 2,888人(+3)	
計 5,667人(+1)	



## 小さな門松

坂谷の関本健蔵さんの所で昨年最高さ三千セシ位の三二門松が作られました。材料の松・杉・竹は全部自分の山で調達され、一日に四、五位のペースで全部で四千が作られました。できた物ほとんどが親せきや知人に配られ大変喜ばれています。

### 主な内容

- 2～3頁…年頭のごあいさつ
- 4頁…第一回ゲートボール大会 読者リレー
- 5～15頁…明るい家庭づくり運動作文
- 16～17頁…ワシマスポット、村長室の黒板
- 18頁…ナイスカップル、温故知新

## ナイスカップル

わたしが  
選んだ人  
選ばれた人

久須美俊郎さん夫妻  
(下小島谷)



今回は下小島谷の久須美俊郎さん(分水町・柳小田鍬金塗装勤務)綾子さん(燕市・中央金属工業勤務)夫妻です。昭和五十八年秋に結婚されて現在、二歳五カ月のさやかちゃん、六カ月のこずえちゃんと母親の五人家族です。

—— 出合いは？  
昭和五十八年の春、知人の紹介で知り合いました。

—— ダンナさんはどんな人？  
男のくせに色々と気が付くので

で女の私としてはイヤな気がする時があります。それに、やせ過ぎなのでもう少し太って欲しいと思います。

—— 奥さんはどんな人？

わりと気が短い所があります。がジョサイない所もあります。結婚する時はスリムでいいなあと思っていましたが子どもを産むにつれて……です。

—— お互い点数をつけたら？

ダンナさんは奥さんに80点  
奥さんはダンナさんに90点  
—— 将来の夢・希望は？

子どもが結婚するまでには、何んとかして家を建てたいと思っています。

—— 何か村や地域に対して意見要望は？

スポーツが好きなので、もっと大きな体育館を作って、大きな大会を実施して欲しいと思います。

……

ダンナさんは村野球連盟の審判部の一員としてまた、地域スポーツのリーダーとして活躍中です。

## 温故知新

### 日野浦部落の火浄入塔 (其の二)

広報わしま十二月号に表題のことを書いた所、寺泊町浄土宗生福寺住職山崎龍教師よりお手紙を頂きました。師は公民館長の傍町史編さん室長をして多忙の身で居られます。筆者とは旧交のある方で、お手紙を非常に嬉しく拝見致し、慈に大要を転記させて頂く。

「塔の正面の「真譽唯心大徳」は拙寺の末庵であった。阿弥陀瀨の阿弥陀堂の庵主で過古帳には「元文五年申(1740)十二月二十五日入寂」と書いてあります。唯念は生福寺第九世爾譽卓現上人(京保十一年(1726)入寂)の弟子であります。阿弥陀堂の由緒は不詳ですが代々浄土宗生福寺の末庵として、その弟子が庵主になっておりその名と死亡年月日が過古帳に記載されてあります。明治十九年の書類には庵主不在で二十二世住職三上榮順兼務となつています。其の後弟子の記名ありません。終戦後の宗教法人法の改正で愚僧も同意して独立寺院となって現在に至っています。火浄入塔の唯念の事に関

しては記載もなく他に資料もありません以上です」  
阿弥陀堂は多分恵心庵の事であるが部落に残っている古文書に「阿弥陀堂東西二六間、東北一三間、三百四二坪。建物十間六尺、二十間、二百拾八坪と誌されている。(八子文書)話をもどして唯心大徳の火浄塔がなぜに日野浦にあるのか。なぜに火浄に入ったのか。  
又入寂の日時が過古帳にある生福寺に火浄についての記録がないこと。又火浄入を行う場合庵主であった阿弥陀瀨でなせしなかつたか。火浄入塔が日野浦にあることの疑問等、地元に残る伝承等不可解の事ばかりである。  
今回山崎師の御教示で唯心大徳が浄土宗阿弥陀堂の住職であったことをお教い頂いた事を謝すると共に村内の人達からも一片でも御気付のことを御聞かせ下されば幸甚の至である。  
久住熊三郎



和島村村長 清野 精合

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。村民皆さんおそろいで輝かしい朝日の出を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

一夜明けての清新な気持ちは新年ならではの感じであります。昨年は自然災害もなく平穏な年でありましたが、きびしい農業情勢の中で自然の恵みと農家各位の御精進努力によって三年続きの豊作を手にすることが出来ました。

行財政を進めるに当って村民の皆様、議会各位の御理解御協力によって恙なく計画を実行に移すことが出来ました。

古来から天の時、地の利、人の和と言われますようにどんなに自然の恩恵があり地の利点があっても最後は人の和に勝るも

の和を通過して村民一体となつて村づくりを進めた賜と改めて心から御礼を申しあげ亦自戒するところでもあります。

村財政の内容も昨年の村政懇談会を通して御報告申しあげた如く投資した施設整備に要した村債を計画通り償還をすすめ、予定した公債費比率十五%台は六十年度末において達成し六十年一度末において十三%台になる見込みであります。

新しい時代を迎えるに当っての足腰の強い財政基盤は何としても大切な条件であります。さて、あますところ十三年と

なりました二十一世紀を迎えるの対応であります交通条件の整備は急速に進み本年から和島バypassの全方線の提示、設計協議も更に進められる見通しとなりました。

今年三月中には第二次長期総合開発計画の後期五カ年基本計画が策定される手筈となっております。

交通条件整備に合せての無雪地域の利を生かし諸構想が策定されるものと御期待を頂きたいと存じます。

高齢化社会の進展の中でこの地域に即した開拓を推進し活性化への道を探るよう努める所存であります。

農業においてはポスト三期対策に当っては農家及び農協の御理解御協力の下、一体となって積極的に強い農業確立を目ざし、商工業については村内外の消費動向を察知しながら守勢より攻勢に転ずる販路開拓の手段を商



和島村議会議長 山田 忠

年頭のごあいさつ

村民の皆さん、明けましておめでとございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、謹んで皆さんの御清福と御繁栄を心からお祈り申し上げます。

昨年三月久須美前議長の後任として不肖私が囿らずも議長という重責を担うことになりました。その責任の重大さを痛感しているものでございますが、その後、議会の円満な運営と村政の伸展を第一義として、誠心誠意努力をしてまいり、おかげをもちまして、大過なく越年することができました。

これはひとえに皆さんの御支援と御協力のたまものと、心から感謝の意を表するものであります。さて、国の財政悪化に伴うしわ寄せは、本村の財政にも影響を及ぼすものと思いますが、私たち議会は住民の代表機関であると同時に議決機関としての原



首都圏ふるさとわしま会会長 宮田 清一

新年のあいさつ

ふるさと和島村の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、私ども「首都圏ふるさとわしま会」に対しまして格別なるご高配、誠に有難うございました。当会も、ふるさと和島村を心から愛する会員の力添えと、これに優る郷土の皆さんのご支援をいただき、満六周年を迎えることができましたこと、役員一同深く感謝いたしております。

特に此の度は、郷土の父母をお客様としてお迎えすることができ、その上コシヒカリ入り「ミニ俵」や、新米の風味ある手作り餅など四季の特産物を賞味させていただき、久しぶりに郷土の香り、味にふれ会員一同懐かしく感銘をうけ大好評でした。

今後も、心と香りの交流を続けてゆく所存ですので、尚一層のご支援をお願いいたします。

さて郷土和島村も、お米は連続三年大豊作とのこと、誠にめでたいところです。が、反面減反、過剰在庫、そして農産物の自由貿易化問題等、汗を流しお米作りに携わっております皆様にとつて、決して予断を許さない厳しい情勢となっていること、心中穏やかならぬこととご推察申し上げます。

最後になりましたが、郷土和島村の益々のご発展とご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



# 明るい家庭づくり運動作文

## 和島村青少年育成村民会議 和島村教育委員会



### たけはげいび

島田小一年 にしの たかし

二十四日のあきは、すこしくもっていましたが、おとうさんとおにいちゃんが、そとでたけをはこんでいるのが見えました。ぼくは、なにをするのかなとおもいました。

ぼくが、ストーブにあたって、テレビを見ていると、おとうさんがきて、

「ふゆがこいのたけが山にあるから、はこぶの手つだつてくれ。」

といいました。もっとテレビを見たいなあと思ったけど、ぐつとがまんしました。

ぼくは、あまぐをきて、ながぐつをはいて、すこし大きい手ぶくろもして、そとにでました。山にいったらみると、おじいちゃん、バサバサとたけをきっていました。おにいちゃんに、「どうやるの。」

ときいたら、

「ささのついているたけをはこぶんだよ。ささのさきつぼがないのはだめなんだよ。」

と、おしえてくれました。ぼく



### わたしのsignature

桐島小一年 早川 あい子

わたしのおとうさんは、しごとを二つもっています。そのしごとは、てっこうじよとワインドサーフィンのおみせです。てっこうじよのしごとを、あさ六じ三十ぶんからはじめます。おひるくらいまでてっこうじよのしごとをして、おひるから

かしわざきにあるウインドサーフィンのおみせにいけます。いえにかえってくるのは、よるの八じ三十ぶんごろです。ときどきわたしがねむってからかえってくるるときもあります。あさからよるまではたらくおとうさんは、とてもたいへんだなあとお

は、三本か四本ずつたけをかたにかついで、うちのわまではこびました。五かいはこんだら、かたが少しいたくなりました。六かい目をはこぼうとしたとき、雨がすこしふってきました。ぼくは、むりして五本もかついだので、かいだんのところツルンとすべってころんでしまいました。ズボンのひざのところかやぶれて、あしがいたかったけど、すこしがまんしてはこびました。

ぼくが、おにいちゃんからお

しえてもらったことをわすれて、さきつぼのないたけをはこんでいったら、おとうさんが、「これじゃだめなんだよ。」

といって、たけをもやしてしまいました。ちよつともったいなあとおもいました。

ぼくとおにいちゃんのはこんだたけで、おとうさんが花のまわりをかこみました。ぼくたちも、なわでしる手つだいをしました。

「ゆきがふって、花がおれたり、くさったりしないようにし

ているんだよ。」

と、おとうさんがおしえてくれました。ぼくは、まいとしこやってお花をゆきからまもっているんだと、はじめてきがつきました。

ぜんぶ花のかいをしたら、たけが一本あまったので、うえ木ばちにもかおせました。

つかれたけど、お手つだいをしたので、すこしいきぶんでした。花のゆきがこいができたので、もうゆきがふつてもだいじょうぶです。しゃかいで、ふゆのくらしのべんきょうをしているので、花のゆきがこいをしたことをみんなにはなしをした

# 第一回ゲートボール大会

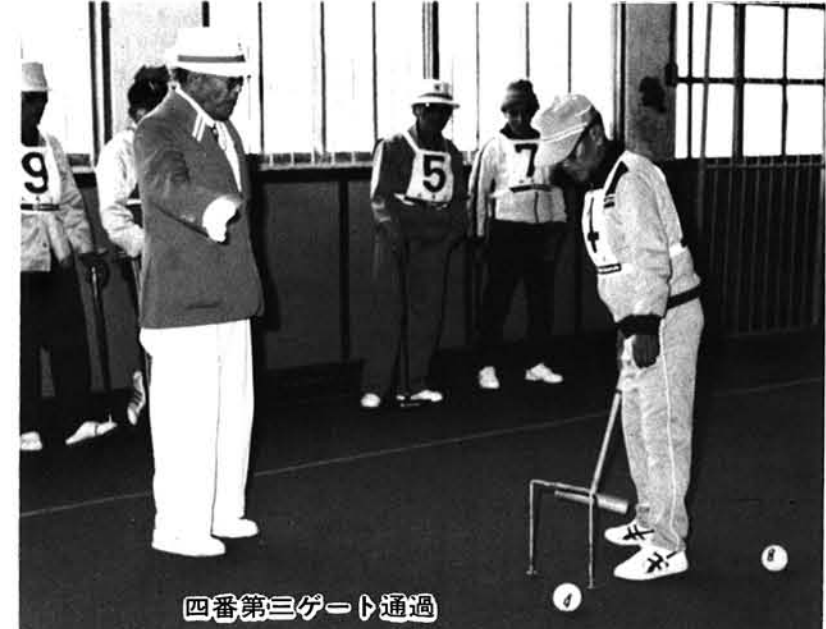
昨年七月にオープンした屋内ゲートボール場において十二月二十一日第一回村老人クラブ連合会ゲートボール大会が開催されました。

村内の老人クラブから十チームが参加して熱戦が展開され、

優勝 チームには村長杯、準優勝には議長杯が贈られました。

浦島クラブチーム (上小島谷・若野浦・阿弥陀瀬)

優勝 (中沢・梅田)



四番第三ゲート通過



浦島クラブチーム (上小島谷・若野浦・阿弥陀瀬)

## 輪の友情を 広げよう 読者リレー

### われら仲間シリーズ(43) 自分の事なんだから

平澤隆之さん (中小島谷)



あらかじめ敷いてあったレールに、うまい具合に乗ってしまつた。終着駅のない、途中下車も出来ない。今まで好きな道を行っていた列車を、そのレールはしっかりと押さえつけ、まっすぐ、まっすぐ運んでいった。すぐ回りの景色が見えないようにトンネルに入ってしまった。長い長いトンネルだった。

現実には背を向け夢にばかり手を伸ばす。描いた夢とかなった夢がまるで違ふのにやり直そうとも

あら、はじめ敷いてあったレールに、うまい具合に乗ってしまつた。終着駅のない、途中下車も出来ない。今まで好きな道を行っていた列車を、そのレールはしっかりと押さえつけ、まっすぐ、まっすぐ運んでいった。すぐ回りの景色が見えないようにトンネルに入ってしまった。長い長いトンネルだった。

現実には背を向け夢にばかり手を伸ばす。描いた夢とかなった夢がまるで違ふのにやり直そうとも

次は、中沢の大矢秀将さんを紹介しします。

たりして、とてもたのしかったです。おかあさんもおとうのだいすけも、とてもよろこんでいました。そして、はやくいえにかえったときは、おふろにっしょにはいります。おふろのなかで、手でかえるや、水でつぼうをつくってあそんでくれます。でも、おゆから上がるときゆでだこみたいにおおが赤くなるまでもぐらせられるのが、とても



### はっばいおじいちゃん

島田小二年 山田 かずこ

夕がた、わたしとおにいちゃんテレビをみていたら、おとうさんが帰ってきました。おとうさんがこたつの中にはいつていっばんたばこをすっているときに、

「はっばいがいっばいおちているからひろうか。」  
「はいました。」

「わたしもやりたい。」といいました。おとうさんが「ながぐつをはいてこい。」といったのでわたしはげんかんにでてながぐつをはいていきました。わたしとおとうさんと、でつかいほうきをもってだいどころのうしろ

いやです。おとうさんとおふろにはいるのはたまになので、いやだけれどまんじています。おとうさんは、ウインドサーフィンをするのがとてもじょうずなので、先生をしています。なつになるとおせいの人たちにおしえています。わたしもおとうさんみたいに、大きくなったら、ウインドサーフィンをならおうとおもいます。そして、

じょうずになったら、おとうさんといっしょにうみへいつて、いっしょにウインドサーフィンをしたいとおもいます。わたしがおもしろいことをしたりすると、とてもこわいおとうさんになります。でも、やくそくをちゃんとまもってくれるおとうさんが、わたしは大すきです。

「もうおわたした。」  
とわたしにいいました。山のうしろにまだあるかとおもってみてきたら、はっばいがありました。わたしはおとうさんに、  
「まだはっばいがあるよ。」  
といいました。はっばいが、「すこししかないのか。」  
「すこししかないよ。」  
といいました。わたしは、「すこししかないよ。」  
といったら、おとうさんは、「かずこはいつてきて。」  
といったので、はいてたところにもいつていきました。おとうさん

んはどらむかんの中にははっばいいて、ライターをつけてもやしました。



桐島小二年 せき川 ひろき

### はっばいおじいちゃん



といったので、わたしがはっばいの山をくずしました。はっばいながぐつの中に二まいはいつたのでおとうさんに、  
「ながぐつの中にははっばいはいつたよ。」

ことしは、みんなで、「どこにいつこうかな。」とみんなで、そうだんをしました。おばあちゃんが、さどに、いつたことが、ないので、さどにきめました。ほくも、いつたことが、ないのでたのしみでした。けれど、しゆくだいをしな

おとうさんが「やめるか。」  
といいたけどわたしは、「たのしいからやめないよ。」  
といいました。どんだんやいつていくとはっばいがすこし山になりました。おとうさんが、  
「すこしずつしてくれ。」

ほくの家は、おばあちゃんとおとうさんとおかあさんとにいとちやんとほくの五人かぞくです。夏休みには、かぞく五人で、りょこうをします。

から、すぐおふろに入ります。わたしが、いつもわかしおきます。ソロバンなどでおそくなると、お母さんが、自分でわかして入ります。

クなどでもいもの屋にはいつたつもします。この間の夜、大きなトラックをうんでんした人が車からおりる時足をくじいて歩けなくなりました。その時、お母さんがすぐトラックをうんでんして病院につれていきました。あんなに広くて、高いトラックのつたのははじめてだったそうです。わたしは、「お母さんは、すこいなあ。」と思いました。男の人と同じしごとをするので、この間、ヘルニアで四十日も入院しました。木村いんに入院したのです。たいいんしてきて、まだ、毎日こしと右足がいたいといっています。そんなお母さんが、かわいそうだと思います。わたしは、あまりむりをしなないでもらいたいと思います。



### お母さんのおしごと

島田小三年 関川 順子

わたしの家のしごとは、金型やです。駅前と、とみおかです。お父さんは、駅前の家でかきをいっばいおいて、三人でしごとをしています。お母さんは、とみおかのほうで三人でしています。

終わると、すぐ、べつの型をやきます。わたしが、二歳の時からこのしごとをしているそうです。どんなにあついても、どんなにさむい日でもしごとをします。さむい日はコンプレッサーのエアがおおる時もあります。そんな寒い日でもスキーズボンをはいてします。くさいにおいと、けむりと、すなと、ほこりでいっばいなのでしごととはは、一年中戸をあけています。だから、一、二月は上があつてもこしから下はやつぱり寒いそうです。

わたしは、火をとめるとすぐさむくなるので一日中火をとめないでつづけてしごとをします。たまに人がきて、コンプレッサーの音ときかいの音で聞こえないので、すごく大きい声でどなりまします。男の人とこわがってあまりそばによりません。一日八時間くらいだまってしごとをします。同じ型をいっばいはこの中に入れたり、すなをシャベルとバケツでタンクに入れたりします。たまに、トラッ

くなどでもいもの屋にはいつたつもします。この間の夜、大きなトラックをうんでんした人が車からおりる時足をくじいて歩けなくなりしました。その時、お母さんがすぐトラックをうんでんして病院につれていきました。あんなに広くて、高いトラックのつたのははじめてだったそうです。わたしは、「お母さんは、すこいなあ。」と思いました。男の人と同じしごとをするので、この間、ヘルニアで四十日も入院しました。木村いんに入院したのです。たいいんしてきて、まだ、毎日こしと右足がいたいといっています。そんなお母さんが、かわいそうだと思います。わたしは、あまりむりをしなないでもらいたいと思います。



といかれなかったので、いっしょけんめいやりましました。いくときは、てらとまりから、カーフェリーにのりあかどまりにつきました。とうきょうみたいな、にぎやかなところだと、おもっていたのに、がっかりしました。とても、しずかで、さみしいそんなところでした。車で、おてらや、きねんかんをたくさん見ました。お天気もよく、おばあちゃんは、とてもよろこんでいました。かえりは、りょうつからにいがたにつきました。三年生の夏休みは、どこにゆくのか、とてもたのしみです。いつまでも五人でりょこうがしたいです。

まず、きかいに火をつけます。それから、上のタンクの中にシヤベルすなをいっばいいれまします。そして、ボタンをおすと、タンクから型のところへすながおちまします。それをバーナーであつくして型をつくりまします。お母さんは、その型を一日に三、四百こくらい作ります。

夏は、あつくて、しごととはは五十度くらいになります。だから、冬はちようどいいあたかさだといっています。きかいにつける型はいろいろなしゆるい

家族みんなで、顔を会わせる時は、朝ごはんの時と、夕ごはんの時と、テレビを見る時です。それがいいは、あまり、家族み

家族みんなで顔を会わせることは、あんなに顔を会わせることは、ありません。お母さんは会社へ、わたしとねえちゃんは学校、たまに、妹のまゆみとじいちゃんが、どこかへ遊びへ行ったりします。お母さんとわたしたちが、学校へ行ったり会社へ行く時間は

### 家族みんなで顔を会わせる時

桐島小三年 小黒 美穂子

同じですが、お母さんは、帰ってくる時間が、ちがうので、顔を会わせるきかいはありません。とくに、火、金、土曜日は、わたしと、ねえちゃん、そらばんじゆくがあるから、顔を会わせることはないのです。でも、夕ごはんの時は、家族みんなで、おしゃべりしたりできます。

家族みんながそろくと、とてもたのしいです。かい話をしたりして、おもしろいです。

顔を会わせるきかいがなくても、夕ごはんになると、家族みんなで、顔を会わせる時がくるので、いいです。

たまに、しかられることもありますが、夕ごはんの時は、家族がそろいます。だから、たのしいです。

朝は、家族は、あまりそらいません。朝ごはんの時も、たまに、みんなで、顔を会わせて、ごはんを食べますが、かい話をしたり、たのしいはなしはしません。だから、あまり、たのしくはありません。

テレビを見ると、たまに、家族がそろいます。でも、話はありません。どんなばんぐみを見るかの、とりあいをします。でも、何をみるかは、ちゃんとき

まります。じいちゃんは、「すもうを見たい」と言うし、わたしとねえちゃんは、「ほかのばんぐみがいい」と言います。でも、わたしとねえちゃんが、勝つて、みたいばんぐみを、みれます。けれど、わたしと、ねえちゃんばかりみる、じいちゃんのみたいばんぐみが、みれないので、いつも、じゅんばんばんこでみています。でも、いま



島田小四年 久住 美由紀

八月の下じゅんごろ、お父さんとお母さんが、わたしと妹をおいて、どこかへ出かけて行きました。妹は、おいていかれたので泣きそうな顔でした。わたしは、「どこへ行ったんだらう」と、少しへんに思いました。

やがて、お父さんとお母さんは、大きなばんやきんちやくぶくろを持って、帰って来ました。「お母さんとお父さん、どつかいくの」と妹が聞きました。「お父さんがね、急に出ちようすることになってね。それで急いで買って来たんだよ」とお母さんが答えました。「えー、い

つからいくの。わたしが聞くと、来週から出ちように行くということでした。

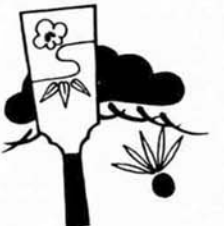
出ちようの日まで、一日、二日、三日、四日と、どんどん過ぎていきました。何だかとても早い気がしました。「お父さんがいなくなる」とさみしくなるだろうなあ」と、わたしは思っていました。

いよいよ出ちようへいく日、お父さんは、まだねているわたしや妹を起こして、「いって来ます」とやさしく声をかけて行きました。お母さんが「電話をする時は九時三十分までにして

ね」と言う、「おう、行って来るね」とタクシーに乗って出かけて行きました。

今回のお父さんの出ちようは東京です。火曜日から金曜日までの出ちようはものすごく長く感じます。お父さんが帰っても、日曜日は田んぼに行ったりしてなかなかいっしょにあそべません。わたしは、そんな時、「つまらないなあ」と思います。「でも仕事だからしょうがないか」とも思います。

お父さんがるすの間、お父さんのことを、「事故にあわないかな」とか、「よくねむれるか



な」とか、心配しています。それに、お父さんの分もいろいろなことをしなければならぬのでたいへんです。わたしもつと大きかったら、「お母さんを助けてあげられるのになあ」と思います。

また、お父さんがいないと、お母さんの、「行ってらっしゃい」という声が聞けなくて、さみしいです。お父さんは、わたしと妹が出かける時にはいつも「行ってらっしゃい」と言ってくれます。その言葉を聞くと、とても気持ちよくなるし、今日一日いいことがおきるような気がするのです。

それから、時々、お父さんは出ちようするようになりました。出ちようも大事な仕事だけれど、わたしや妹は、やっぱり家にお父さんがいた方がずっといいです。家ぞくみんながそろっているのが、一番いいと思います。



桐島小四年 村木 孝行

ぼくの家は、今から六十年前は、だんご屋だったということなんです。そのころ使ったうすが、今もまだ残っています。近所でのひょうばんもよかったです。

「とつても、おいしかったけど、たくさん作らないので、午後から買いに行く」と売り切れのことが時々あったよ」と教えてくれるおじいさんもいます。

その次は、げた屋です。今の人には、わからない雪げたや高いあしだなど、いろいろのげたを作っていたそうです。形は少し悪いけど、とても丈夫なげただったということです。

そのころ、店でうっていたげたは、四年位前まで物置にしまっていてありましたが、家をたてかえる時、じやまになるのでもやしてしまいました。今考えると少し残念な気がします。

その後、うどん屋をやりました。この時はとてもほんじようして、機械を使つてうどんを作つても、すぐなくなるほどだったそうです。とろろいもに

卵のりを使った月見うどんが、一番よくうれたということなんです。メニューのことは、しながきとい木の板に書いて出しておいたのだそうです。

しかし、こんなにはほんじようした店も戦争が始まり、うどん粉が手に入らなくなり、やめてしまいました。

そして、今度は、三階だての料理屋を開きました。じゅうぎよう員は、芸者さんもふくめて六人位もいて、とてもにぎやかだったそうです。そのころ祖母は八歳位だったということですが、中庭に深い井戸をほって

たら高田から、えらい軍人さんが四十人も会合にこられることになり、じやまになるので取りやめになってしまいました。曾祖父は、とても残念がったそうです。

また、家業に使うために、人夫をたのんで、山の畑に雪をたくさん集めておいて、魚をたくわえる時やアイスクリームを作るのに使ったということなんです。それから、近所の病人の熱をさ

ますのにも使ったそうです。アイスクリームの機械は、家にまだ残っていました。

ぼくは、それを見てほんとうにアイスクリームができるかどうか、実験してみたいと思いました。

また三階の屋上にあがると、長岡の花火がよく見えたし、火事があると、近所の人、「見せてほしい」とたのみに来たという話も聞きました。



島田小五年 小黒 由紀子

私のおばあちゃんは、去年の十一月二十七日の日に、作業小屋(中二階)に冬がこいの品物を取りに行つて、けがをしました。

「はしご(短かいはしご)に足をかけて、下におりて行くうとしたら、その短かいはしごが、前にいったん行つて、そして横の方にはしごが行つて、長いはしごにつかまろうとしたら、

戦争が終わつて、少したつてから、祖母は飲食店を始めました。地藏堂へ氷を仕入れに行き、木で作った。中に鉄板の張つてある冷ぞう庫に入れて持つて帰り、かき氷屋もしました。

このころになると、村のあちこちに飲食店ができたので、ぼくの家は、季節旅館のきよ可を取つて、家をたて、旅館にな

つかまれなくて、そのまま、わからなかった」とおばあちゃんが言つてました。そして、気がついた時に、農協(クリーンヒーター)をなおした人が、ちよ

うと来て、おばあちゃんがいなかったのを気づいて、外にさがしに行つたら、おばあちゃんが、手まねきをしていて、その農協の人が、救急車や、きん所の人

りました。はじめのころは、仕事で来る人がよくとまりました。ぼくは、この話を祖母から聞き、自分の家の歴史がよくわかりました。ぼくは、昔の人はえらいと思つていました。何事にも思い切つてチャレンジする勇氣をもっているからです。

ぼくは、まだ大きくなつたら何になるかということ、はつきりきめていませんが、曾祖父や祖母のように、自分の力で一生けん命生きていける人になりたいと思つています。

をよんでくれたそうで、その時私は、まだ学校にいて、ぜんぜん気がつきませんでした。でも、そろばんがおわつて、里花さんの家の人から、乗せてもらい、そして里花さんのお母さんが、「由紀子ちゃんのおばあちゃん、たおれて救急車にはこぼれました。私はとつぜんのことだ

ったのでびつくりして、体がふるえて、声が出ませんでした。そして、お母さんもまた、阿部さん(きん所の人)が、電話で知らせてくれて、もうスピードで家にかけていたら、ちょうど救急車が行くところだったから、阿部さんとお母さんがかわって、そして救急車に乗って、につせきに行つた。と言っていました。そしてお母さんに、「おばあちゃん、どこをうったの?」と聞いたら、お母さんが、「頭とこしをうったんだって。」と言つたので、(おばあちゃん、大じょうぶかな)と心配でした。そして、おばあちゃんは、二十日も入院しました。その間、お父さんが、日曜日とか、おみまに行き、おじいちゃんは、仕事を休んで、毎日、夜もあまりねないでつきそって、お母さんは、会社から、帰ってくる、弟の正晴をつれて病院に行つて、おじいちゃんとうたいして、そして、おじいちゃんが、ご飯とか食べて、少し休んで、そして、私をつれて、また病院に行つて、そして、お母さんとかわり、私と正晴をつれて、家に帰つて...というふうには、これをつづけていてたいへんだつ

たと思います。でもこうして、おばあちゃんが帰つてこれたのでよかったです。おばあちゃんは今でも、無理ができません。それは、無理をする、目がまわつて、気持ち悪くなつたりするからです。だから、おばあちゃんを、あまり無理をさせないようにしています。だけど、おばあちゃんはいえもしないと、これもしないと。と言つて、あまり休みません。だから、おばあちゃんには、つかれが出たと思うと、早くねます。私は(おばあちゃん、自分の体が、とてもよくわかるんだなあ)とつくづく思います。それに、私は鼻がとても弱く、すぐに鼻血や、ちくのうしょうという鼻の病気になるのを、おばあちゃんが知っていて、ドクダミをふかして、のましてくれたので、(おばあちゃん、よく気がつくなあ)と思いました。それに、おばあちゃんは昭和八年生まれなので、よく、戦争の話をしてくれました。私が小さいころは、昔話をよくしてくれました。おばあちゃんは話し方がとてもうまいので、ついつい本当にしてしまったのもありました。



父由の仕事を父に代る

桐島小五年 羽入 理恵

わたしの父と母は家の工場に働いています。工場では車の修理をしています。父と母は朝から夜まで働いています。父の仕事は、主に車の修理で、母は事務の仕事をしています。そのほかに、車を洗つたり請求書を配る仕事もあります。

工場とは、わたしにはよくわかりませんが、わたしたちのために毎日働いてくれてます。だから、時々、請求書を配る仕事を手伝つたりします。夕方おそくまで働いているところを見ると、本当にたいへんなんだなあと思います。毎日疲れるだろうと思いますが、仕事の方は休んでくれません。どんな仕事が入ってくるので、そのたびに忙しそうに働いています。

工場でおおせないものは、部品を取りよせるなどして、最後まできちんと修理するのだそうです。せっかくの日曜日なのに、仕事が入ってくると、ゆっくりもしていられます。そんな時、わたしは休ませてあげたいと思います。わたしたちが、今の生活をしたいられるのは、父と母がこのように仕事をしてくれるからです。ご飯も食べられるし、ほしい物も買ってもらえるのも、父と母のおかげなのです。感謝しなければいけないと思います。わたしは、一日も早く大きくなって、お父さんやお母さんを楽にさせてあげたいと思います。



おばあちゃん

島田小六年 渡辺 よし子



そして、今は、親になるべく心配をかけないように勉強や運動にがんばらなければいけないと思います。そのことが、お父さんやお母さんを楽にさせてあげられることになるでしょう。

わたしたちの家庭が、いつでも明るいものであるために、一生けん命に働いてくれるお父さん、お母さんたちに負けないよう、これからはがんばっていきたくです。

うちのおばあちゃんは、長岡生まれの人です。中学生のころおそろしい長岡空しゅうを経験したそうです。大勢の人が死んだり、たくさん建物が焼かれたことなど、その時のようすを話してくれました。実際に経験している、私たちの知らない戦争の苦しさもよく伝わってきます。そんな時、いつも、むかしの人はいへんだったなと思います。また、おばあちゃんが生きていて、ほんとうによかったと思います。

ので、はりに糸を通す時、私や弟に、「通してくれや」と言いながら、メガネをかけて、いっしょうけんめいにぬつてくれます。私は、おばあちゃんが作ってくれた手さげなどが、お店で売っているどんなものよりも、気に入っています。ときどき、私も、おばあちゃんから、ぬいものやあみものをおそわり、ぞうきん、簡単な手さげ、マフラーなどが作れるようになりまし。おこりながらも、やさしく教えてくれるおばあちゃんに、いつも感謝しています。また、上手には作れませんが、時間のあるときは、もつと教えてもらつて、おばあちゃんのように、上手になりたいと思います。次に、料理が得意です。それも、こんなにやく、れんこんなど



親の仕事

桐島小六年 下村 寛和

ぼくの家は、父と母と妹とぼくの四人家族です。ぼくの家で仕事をしているのは、父と母の二人で、同じ会社に勤めています。勤めている会社は、下村商会という自動車修理の会社です。会社での父の主な仕事は、修理しおわつた車を、安全かどう

か調べたり、会社に來られたお客さんと仕事のこと話をして、ここをなおしましたと、書類に書いて、お客さんにわたすなどという仕事をしています。父の仕事で、一番責任のある仕事は、修理しおわつた車の検査をする時です。もしも、ねじが一本でもはずれていたとしたら、お客さんが運転している時

に、ブレーキがきかなくなつたら、人の命にかかわることになるためです。だから、この仕事はいつも、真けんでなければいけないので、父はよくつかれたと言います。それは、毎日こんな責任のある仕事をしているためだからだと

思います。父の仕事は、ほかにも会社のお客さんの車を、何日の何時までにしあげておいておかないといけないかということや、車検に全部入れておいたり、車検をしたり、修理をしたりと、会社さまさまな仕事をしています。

なぜそんなことをするのかというと、父は仕事の総責任者だからです。ですから、会社の戸じまりまでも、父が全部やりま

す。そんなことを全部するのだから、家に帰って来るのは、九時や十時になってしまいます。そのため、ぼくたちと遊んでくれる時間がないのは、とてもさびしいです。

「たまには、父が早く帰って来て、いっしょに遊んでくれないかなあ。」

と、いつも思います。母の仕事は、父と同じ会社の事務です。

会社の事務所の机で、いろいろな書類を書いています。母は、ぼくたちが学校へ行ったあと、会社に行って、妹が学校から帰ってくる前に、家に帰っています。

ぼくの家には、おじいちゃんや、おばあちゃんがないのに、

よくがんばっているなあと思います。

夏休みの時や冬になると、会社がいそがしくなると、ほとんど父や母が家にいなくなり、妹と二人で留守番をする日が多くなります。そんな時にも、おじいちゃんやおばあちゃんがいらないなあ、よく思います。そんな時、日曜日などには、みんなで出かけたり、家のそうじをしたりします。



### 父へ……

北辰中一年 久住 幸代

父のことを一口に、好きだきらいだと言いきれることは、最近の私にはできません。ただ私にとっては、すごく大きな存在だということは確かです。

私は、二人姉弟の「姉」です。女の子だったということ、父には、ずいぶんかわいがられてきたように思います。けれどそれは自分で思っているだけで、父はそう思っていないかもしれ

ません。弟とも、よく野球のことなどを話していますし、弟が私のことをぬかして父と話しているのを見ていて、私も入り

たいなあと思う時もあるし。父は私たちのことをかわいがってくれるから大好きだったのかも知れません。けれど、もう私も中学生です。自分の思うことも主張できるようになり、父の好きな所、きらいな所がはっきり区別されるようになりました。

父の短所は、（これは父の短所と言うより私のきらいな所と言った方がいいかもしれませ



ないなあと思う時もあるし。父は私たちのことをかわいがってくれるから大好きだったのかも知れません。けれど、もう私も中学生です。自分の思うことも主張できるようになり、父の好きな所、きらいな所がはっきり区別されるようになりました。

父の短所は、（これは父の短所と言うより私のきらいな所と言った方がいいかもしれませ

ないなあと思う時もあるし。父は私たちのことをかわいがってくれるから大好きだったのかも知れません。けれど、もう私も中学生です。自分の思うことも主張できるようになり、父の好きな所、きらいな所がはっきり区別されるようになりました。

父の短所は、（これは父の短所と言うより私のきらいな所と言った方がいいかもしれませ

ないなあと思う時もあるし。父は私たちのことをかわいがってくれるから大好きだったのかも知れません。けれど、もう私も中学生です。自分の思うことも主張できるようになり、父の好きな所、きらいな所がはっきり区別されるようになりました。

覚えるかもしれません。けれど中学生になって初めて、ただ父を、本当に理解できるようにになりました。

父は、私にとって、どれほど大きな存在かも知ったような気がします。

今、体によくないと言われている、タバコが大好きな父。けれど、それも、いっしょけん



### 父と将棋をこころ

北辰中二年 近藤 武博

僕は小学校のころ、父が、仕事が終わって帰ってくると、よく将棋をしてだんらんのひとときを過ごしたものである。

そのころは、いつも、父がはやく帰ってこないかなあと思いな

がら、はやばやと将棋ばんを用心して、コマをばんの上にならべて、父の帰りをまったもの

である。そして、父が家に帰ってくる、早速やりはじめ、一回では満足がいらず、二回、三回と幾度となく父に挑戦し、時間のたつのも忘れるくらい、将棋に熱中したものである。

——しかし、しばらくすると、異変がおきた——

ファミコンゲームの登場である。

ある日、僕は父にのちの麻薬となるファミコンを買ってもらった。それ以来、僕は、ファミ

コンのとりこになってしまったのである。ファミコンは、やればやる程、おもしろくなって、やめられなくなった。いつも、

六時ころから始めて、七、八時ころまでやっていて、だんらん

などやっていられるかというかんじになっていったのである。もちろん、将棋など、やる機会が少なくなっていく。というよりは、全くしなくなったとい



そして本当に、「ありがたい」と思っています。私から、見たそんな父……「やっぱり最高!!」

しかし僕は、決断した。学校の勉強のことも考えて、ファミ

コンを知らぬはずだったのである。それからというものは、将棋やファミコンをしていたこ

ろからみて、かなり家族からはなれて、孤独になってしまったように思えた。その間、僕は、勉強をやるうにも、手がつかず、

かといって、遊ぼうにも、ファミコンがないし、今さら父と将棋をするにもあまり、気乗りし

なかった。ある日、父が普段より早く家に帰ってきたので、久しぶりに父と将棋をしようかなあと思った。しかし、久しぶりというこ

ともあって、少し、やる気が出なかった。かといって、内心、全くやりたくなかったわけではない。むしろ、久しぶりに父と将棋をしたいという気持ちの方が大きかったかもしれない。

しばらくして、ふと父が、「将棋でもするか」と、いつてきたのである。一瞬、僕は、おやっ

と、思ったのち、無意識のうちに、「うん」とオーケーしていた。久しぶりに、父とする将

棋は、ファミコンとは、また一味ちがったおもしろさがあった僕にしてみれば、ファミコンを

ゆずって、孤独になっていたところに、父とやった将棋のおかげで、やっと、父との楽しいひとときをすごせたという実感で、

いっばいだった。ファミコンをゆずりわたす前、ゲームに熱中して、テレビにかじりつき、目の色を変えて、一人もくもくと孤独にゲームしていたころ、自分の心の中に、家族のだんらんの中に入りたという

忘れて、例の通り、一回では満足いかず、二回、三回と父に挑戦するのであった。内心なんとなく、将棋ができ

たそのものよるこびよりも、父と一緒にだんらんのひとときをすごせたという、よろこびの方が大きかったように感じた。

それからというもの、僕は、毎日とはいかぬものの、月に一、二度、ひまがあると、父のだ

んらんのひとときを、将棋で楽しんでる。これからも家庭内のだんらんの時間を大切にしていきたいと思っ

た。その日、僕は、時のたつのも



青だけど きちんと見ようね みぎひだり



# 家族一人一人の大切さ

北辰中三年 佐々木 美代子

兄が、東京の郵便局に就職が決まった時、喜ぶ反面、少し悲しかった。私が生まれた時八人だった家族が、又、一人いなくなり、今ではとうとう、五人になっ

てしまった。私は小学校の頃、家族の人数が多いため、大変いやな思いをした。なぜなら、うるさいし、テレビなどでも、見たいものを自由に見ることができず、遊び道具も少なかったからである。

一番上の兄が就職する時、今まで一緒に生活していた人がいなくなるということにより、悲しさを感ぜなかつた。それは、幼なかつたせいもあるが、きつ

とその時はまだ、家族の大切さが、わからなかつたからだと思ふ。家の中が、少し暗くなつたかな、と思つたが、どうせ、いずればいなくなるのだし……と思つただけだつた。

ところが、去年の六月、おじいさんがなくなつた時、初めて家族の大切さを、強く感じた。気管支炎のため、長い間苦し

入院と退院を何度も繰り返していたおじいさん。何回か危機をのり越えたが、とうとう良くならず、私達の前からいなくなつてしまった。

兄の場合、どんなに遠くても、すぐにはいかないが会うことはできる。声だつて聞ける。しかし、おじいさんの場合、どこへ行つても会うことができないのである。声が届かなくても、声さえ聞くことができないので

ある。今になって、ああしてあげればよかつたな。こうしてあげればよかつたな、と思うことがよくある。例えば、入院中も

つとお見舞いに行つてあげればよかつたということである。学校に通つてゐるため、あまり行くことができなかったが、みんなに会いたいとよく言つていた

そうだ。久しぶり会いに行くと、本当に喜んでくれたものだつた。しかし、もう、今は何もしてあげることができない。この気持ち伝えることさえできないのである。家の中は、就職

するために一人いなくなつた時よりも、ずっと暗く、さみしうだつた。毎日つきつきりで見

病んでいたおばあさんも、すっかり気がぬけてしまつたようだつた。家族の一人がこの世から消えてしまふこれは、私が今までに体験した悲しみの中で最も

つらかつたことの一つであつた。又、家族一人一人の大切さを深く感じたでき事であつた。

又一人、又一人と、この家を出て行くことになる。だから今は、できる限りのことをし、家族みんなで助け合つて行きたい

と思う。今も母が神経痛で、朝の寒さが本當につらいと言つてゐる。私は、それを聞くたびに、手伝つてあげなければならぬ

## 第八回新潟県少年の主張 長岡・栃尾・三古地区大会（8/26 栃尾市市民会館）発表作品



# 心をいかに

北辰中三年 若井 美砂子

私は、学校の行事に対して、意見をもつてゐます。私達の学校では、毎年たくさん行事が行われてゐます。特に二学期は、予定がぎつしりのため、みんな

休む暇もないあります。そのためか、行事が終わつてから、「ああすればよかつたのに」とか、「こうすればよかつたのに」とか、後になって

思ふことがあります。こんな事を、思うようになったのは、二年生になつてからです。一年生の時は、何が何だかわからない

まま、終わつてしまひ、考える余裕もありませんでした。例えば、体育祭の時には、紅軍、青軍、黄軍と三つの軍団が

つくられます。軍団が三つしかないために、全員走以外の種目に、出場できないのです。出場できない人は、ずっと応援席で、他の人の応援をするだけなん

です。私はそんな人を見ると、「これが体育祭なのかな」とか、「体育祭とは、人の応援をすることなのかな」と、考へてしまひます。なぜなら、私の理想的な体育祭と一致しないからです。

私にとつての体育祭は、全校のみんながリレーの選手になる

とか、役員になるとか、一つの事に集中し、友情の輪をひろげる、といったようなことです。やはり、これは単なる私の理想

で、終わつてしまふのでしようか。でも私は、せめて今年一年だけでも、自分の理想を実現させたいです。こんな体育祭の中にも、私の

気に入つてゐることが、一つあります。それは、団が一つになつて他の軍団と競い合うということ

おじいさんの時のように後悔し、毎朝手伝つてあげればよかつたと思つたらう。そんなことがないように、努力し、できるだけ思つてゐることを、すべて実行に移せるようになりたい。私の

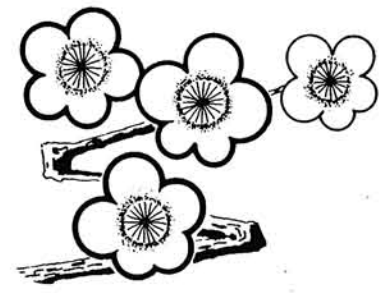
父は今、健康である。しかし、そのうち病気になるのではないかと思ふ。なぜなら、お酒やタバコの量が人一倍、多いのでは

ないかと思ふからである。私が一言、声をかければ、少しはひかえてくれるかもしれない。しかし面倒なので私は、何も言わない。でもこれはまちがいで、

家族一人一人の大切さというものを考えれば、声をかけるのは、

当然のことではないかと思ふ。私は家族一人一人を大切に思ふには、まず第一に家族一人一人の健康を考へてあげることだと思ふ。みんなが健康なら、自然に家の中も、明るくなるのではないだらうか。

私も、もう中学三年、いつかはこの家を出て行くことになる。今、私がやらなければならぬことは、毎朝、母の手伝いをすることだと思ふ。そして私がこの家を出る時は、家族みんなが健康であつてほしいと願う。後悔の残らないよう、家族一人一人を大切にしていきたいと思ふ。



メロデーによって表現され、大変すばらしいものです。私が一年生のころは、初めてでもあつたので、本當に簡単な曲を一生懸命に歌いました。となりの人につられて、他のパートを歌つたりもしました。上級

生から見れば、私達の歌は、ちつぽけなものだつたでしょう。でも逆に、私達から見た上級生

は、声も出ないほどでした。リズム感。それにパートの調和。どれもこれも、みんな私達よりもすぐれてゐました。幼なかつた私にとつては、曲の長さにも、

ビックリさせられました。それと同時に、私の心の中では「私達が三年生になつた時、こんな上手に歌えるかな」という不安もありました。

翌年、つまり私が二年生の時は、去年まですこいなあと、思つてゐた三年生が、なんだか急に身近に感じました。それはきつと、私達の歌が少しは上達したんだと思ひます。三年生の先輩と、私達のクラスは、いつしか二位、三位をあらそうようになってゐました。三年生の人達

も、おそらく「二年生に負けるわけにはいかない」とライバル

意識を燃やしてゐたに違いありません。私達も、「もしかすると、三年生の人達に勝つことができるかもしれない」と、胸の中で思ひ、練習に励んでゐました。結果は、やはり三年生の力を越えることができませんでした。この時は、くやしいという

気持ちよりも、先輩にはかなわないなというあきらめの気持ちの方が大きかつたです。私達は先輩方の歌唱力よりも、おとつていたかもしれせん。ですが、先輩方が勝つことができたのは、歌唱力よりもみんなの心が、歌を通して一つになつてゐたからだと、私は思ひます。

こんなふうに、心が一つにまとまるということによって、勝利につながるということもあるのではないのでしょうか。

私が、合唱コンクールから得たことは、みんなが自分の役割を果たして、目標に向かって進んでいけば、楽しい学校生活を送れるということです。残された中学校生活を充実させるために、全力を尽くしていきたいと思ひます。

安全をいつも心にふむペダル





# ☆ ワシマ ☆

## 広げよう コミュニティの輪

11月16日、駅前地区コミュニティづくり推進協議会(小島谷駅前地区)壮年部の皆さんの手で、小島谷駅前広場の整備が行われました。以前に植えた松、ヒバ等が枯れた箇所新しく植え替えたり、池の清掃等とてもきれいになりました。

越後線の前身である越後鉄道の創立者、久須美秀三郎翁の銅像も心なしかほほえんで見えました。皆さん大変ご苦労様でした。



### 村長室の黒板から

和島村長 山本 浩二

十一月十九・二十日 明年度公共事業陳情の為正副議長 常任委員長各位と上京関係機 関陳情

委嘱状伝達 心配ごと相談員委嘱 する婦人の集い」に出席

本年も後僅かとなった。何時ものことながら一年が早い。三年連続の豊作で喜んでばかり居られない。明年からのポスト三期対策に対して頭の痛い農業情勢。雪のある二月から大火災が二度も発生。尊い生命も奪われた。自然災害はないものの村民生活の安定が行政の究極目標。来年こそ良い年であるよう祈るや切なり。

二十一日 農業所得協議会 老人ゲートボール大会賞杯授与

四十五日 全国治水大会及び 災害復旧全国大会に出席

十二月十六日 県農業所得協議会 十六日 県国保連理事會

二十四日 渡辺代議士官房 副長官就任祝賀会の為三島町へ

七日 第五分団を中心とした 村消防演習に立会う

十二月十六日 県国保連理事會

二十五・二十七日 全国町 村長大会並びに関連全国大会 出席

八日 三島北部、出雲崎両森 林組合合併推進協を出雲崎で開 催する

十二月十六日 県国保連理事會

二十八日 県森林組合広域 合併協議会、委員として出席

九日 本年度最後の区長会 十日 村予算編成説明会 村 教育研究会で講演、題「愛語」

十一月十一日 荒・根老人夕總會 出席 国保運営協議会

十二月一日 新再民生委員

十一月十一日 荒・根老人夕總會 出席 国保運営協議会

十一月十一日 荒・根老人夕總會 出席 国保運営協議会

### 歳末 雑 感

本年も後僅かとなった。何時ものことながら一年が早い。三年連続の豊作で喜んでばかり居られない。明年からのポスト三期対策に対して頭の痛い農業情勢。雪のある二月から大火災が二度も発生。尊い生命も奪われた。自然災害はないものの村民生活の安定が行政の究極目標。来年こそ良い年であるよう祈るや切なり。

### 安全運転を 心掛けましょう

昨年十一月二十一日、桐島地区農協ガソリンスタンド脇でシートベルト着用取締りが行われ、約百台の車を調べましたが一台も違反はありませんでした。これから、天候の悪い日が続きますので運転者はシートベルト、ヘルメットを着用し十分注意して運転しましょう。

また、飲酒の機会も多くなりますので「乗らなれば乗るな」「乗るなら飲むな」で皆さんで注意しましょう。



# ☆ スポット ☆

## 善箱の寄贈ともあつき大会

昨年十二月九日(火)、島田小学校で各学年の代表六人に島田地区農協から一善箱が寄贈されました。これは、農協の本所・支所・ガソリンスタンドなどに設置された募金箱で合せて十万余円のお金が子ども達のために贈られました。また、PTA家庭教育部の一つの行事として農協の協力を得てもちつき大会も催され、きなもちに雑煮とたくさんお代りをしていました。



## 大健闘 和島新町チーム

第4回新潟県綱引選手権大会でベスト16の快挙

去る11月24日(月)新潟市鳥屋野総合体育館において、第4回ニッシンカップ新潟県綱引選手権大会が実施されました。これに先だち実施された村民綱引選手権大会で優勝した下町チームが、和島村の代表として、「和島新町チーム」の名前で参加いたしました。事前の特訓の成果があり、当日は一回戦シード、二回戦は湯



沢町の湯沢エトセトラチームに快勝、三回戦は恵チームを敗り、四回戦へと駒を進め、そこで、前年度優勝チーム新潟市消防局救急隊Aと対戦しました。結果



は、善戦むなく敗れてしまいました。参加チーム七十チームの中で、初出場でベスト16の成績は大変すばらしいものです。ご声援いただきました皆様、事前練習にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

**善意を  
ありがとう**

社会福祉に役立ててほしいと村社会福祉協議会に次の方よりご寄附をいただきました。

厚くお礼申し上げます。

下町上  
長谷川スイ様  
和島村商工会婦人部  
様  
新潟市  
新潟県教育映画配  
給社様

## 版画教室

公民館では十二月四日、十一日の夜、二日間にわたり版画教室を開きました。

十数名の参加者達は、各自彫刻刀を持参して、時季的にも年賀状作りの季節となり熱心に手作りの味に取り組んでいました。



# お知らせ広場

## 和島保育所

入所申請を受付いたします

- 1、入所資格  
和島村に住所を有し、なおかつ家庭において保育が困難な状態にある乳児(満1歳に満たない者)及び幼児(満1歳から5歳までの者)
- 2、定員  
120名
- 3、申請受付  
(1)日時 1月21日(木)島田地区  
1月22日(木)桐島地区  
午前9時～午後4時  
(2)場所 保育所 事務室
- 4、申請方法  
役場住民課又は保育所に申請用紙が用意してありますので、必要事項を記入の上、当日ご持参下さい。

- 5、保育料について  
現時点では昭和62年度の国の徴収基準が決定しておりませんので、基準が決まり次第村の基準を作り、申請後それに基づき保育料を決定します。  
(算定方法は、児童と生計を同じくする家族全員(児童の叔父、叔母は除く)の前年分の所得税額等の合計による階層区分による)
- 6、その他  
不明な点がありましたら、役場住民課係まで照会下さい。  
(TEL 74-3111 内線26)

**有料道路通行料金の優遇措置**

十二月一日から身体障害者の上肢機能障害者が有料道路通行料金を割引対象者に加えられました。

詳しいことは、役場住民課へ問い合わせ下さい。

**県立新潟高等学校通信制(通信教育)生徒募集について**

昭和六十二年度県立新潟高等学校通信制の生徒を次により募集します。

なお、高等学校通信制は、主として自宅で受ける通信教育によって四年以上在学し、所定の単位を修得すれば高等学校卒業資格が与えられる制度です。

一、応募資格  
中学校卒業またはこれと同等以上の資格を有する者  
(年齢は問わない)

二、願書受付期間  
昭和六十二年二月二十一日から四月十日(必着)

三、入学案内及び詳しいことはつきに問い合わせ下さい。

〒九五一  
新潟市関屋下川原町二丁目六三五番地新潟県立新潟高等学校通信制  
電話(〇二五)二六六一五二六八

**和島幼稚園**

**入園願のお知らせ**

昭和六十二年年度の幼稚園の入園についてお知らせいたします。

入園の申し込みは早目にお願いたします。

◆入園できる子供さんは  
昭和五十六年四月二日～昭和五十七年四月一日までに生まれた子供さん

◆受付期間は  
一月十六日～一月三十一日まで

◆提出場所は  
和島村教育委員会へ  
入園願の用紙と幼稚園に関する説明書は保育所を通じて子供さんの家庭へお届けいたします。

不明な点は、次へ  
〇教育委員会 七四一三一一  
〇幼稚園 七四一三六六八

**新潟県史刊行の御案内**

予約募集中

新潟県が立県百年の記念事業として、編さんを進めている「新潟県史」は昨年度に続いて、昭和六十二年三月に四巻が刊行されます。

刊行予定の四巻は、通史編三巻と別編一巻で、特に通史編三巻は図版・写真を豊富に取り揃えた親しみやすい県史です。また、別編は人物に関する基本資料を収載しています。

この機会に多くの皆様の購読をお勧めします。

なお、昨年度までに刊行された二十五巻も高評を得て、県内外の方々に愛読されています。あわせて購読ください。

◆昭和六十一年度刊行巻の頒布価格

通史編二 中 世 三、六〇〇円  
通史編三 近世一 三、六〇〇円  
通史編六 近代一 三、六〇〇円  
別 編 三 人物編 四、八〇〇円  
(分売可、送料別)

◆申込先  
〒九五〇  
新潟市新光町四番地一  
新潟県総務部県史編さん室  
電話(代)八五一五五一一  
(内)二二〇一

◆申込方法  
官製ハガキに住所・氏名・購入巻名・冊数・公私用別・電話番号などを記入して、お申し込みください。

**和島幼稚園**

**入園願のお知らせ**

昭和六十二年年度の幼稚園の入園についてお知らせいたします。

入園の申し込みは早目にお願いたします。

◆入園できる子供さんは  
昭和五十六年四月二日～昭和五十七年四月一日までに生まれた子供さん

◆受付期間は  
一月十六日～一月三十一日まで

◆提出場所は  
和島村教育委員会へ  
入園願の用紙と幼稚園に関する説明書は保育所を通じて子供さんの家庭へお届けいたします。

不明な点は、次へ  
〇教育委員会 七四一三一一  
〇幼稚園 七四一三六六八

**県立新潟高等学校通信制(通信教育)生徒募集について**

昭和六十二年度県立新潟高等学校通信制の生徒を次により募集します。

なお、高等学校通信制は、主として自宅で受ける通信教育によって四年以上在学し、所定の単位を修得すれば高等学校卒業資格が与えられる制度です。

一、応募資格  
中学校卒業またはこれと同等以上の資格を有する者  
(年齢は問わない)

二、願書受付期間  
昭和六十二年二月二十一日から四月十日(必着)

三、入学案内及び詳しいことはつきに問い合わせ下さい。

〒九五一  
新潟市関屋下川原町二丁目六三五番地新潟県立新潟高等学校通信制  
電話(〇二五)二六六一五二六八

ストーブの上で洗濯物を干すのはやめましょう

# 農業委員会委員選挙人名簿登載 申請書の提出について



農業委員会では「やめよう! ヤミ小作・進めよう! 利用権設定」を合言葉に利用権設定等促進事業による貸借を進め、安定的な利用関係を保ち健全な農業経営が出来るよう掘り

毎年、一月一日現在による農業委員会委員選挙人名簿登載申請書を農業委員会まで提出しなければなりません。

次の事項に該当する方は、一月十日までに提出してください。

- 一、和島村農業委員会の区域内に住所を有する者であること。
- 二、年齢が満二十歳以上の者であること。三月三十一日現在(昭和六十二年四月一日生れまで)二十歳に達する者も記入してください。
- 三、十アール(一反歩)以上の農地につき耕作の業務を営む者。
- 四、耕作従事日数が年間おおむね六十日以上の方。
- 五、申請書の記入事項はすべて昭和六十二年一月一日現在の状況を記入すること。

以上申請書の裏面にも記載してありますが、不明な点は農業委員会に問い合せください。

起こしを行っていただきますので協力くださるようお願いいたします。

なお、農地の問題は最寄りの農業委員会が役場農業委員会に相談ください。

## 1月の心配ごと相談

日時……16日、26日、午前9時から正午まで。  
※今年から時間が上記のとおり変更になります。まちがいのないようお願いいたします。

場所…福祉センター老人室  
内容…生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金相談・身障相談・職業相談・その他なんでも  
その他…相談内容は秘密で費用は無料です。遠慮なくご利用下さい。

## 新潟県最低賃金

昭和61年10月2日から、新潟県内で働くすべての労働者は、

**1日 3,469円**

(ただし、時間給の労働者は1時間434円)となります。

- 使用者は、最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければなりません。
  - 最低賃金には、賞与等の臨時に支払われる賃金・精進手当・通勤手当・家族手当ならびに時間外労働、休日労働および深夜労働に対して支払われる割増賃金は算入されません。
  - 新潟労働基準局長の許可を受けた場合には、最低賃金の適用除外が認められます。
  - 詳細は、新潟労働基準局賃金課又は最寄りの労働基準監督署へお尋ね下さい。
- 新潟労働基準局・労働基準監督署

## 国民年金1月中

◎60歳になる人  
昭和2・1・2～昭和2・2・1生まれ

◎65歳になる人  
大正11・1・2～大正11・2・1生まれ

老齢年金を請求しましょう。

◎1月に生まれた受給者の人は現況届が届いたら、すぐ出しましょう。

## おかあさん わすれちゃダメよ!

— 保健衛生行事 — (1月)

月	日	曜	種 目	対 象	時 間	場 所
1	20	火	リハビリ訓練	希 望 者	午後1時～3時30分	福祉センター

くらしの中の 省エネルギー